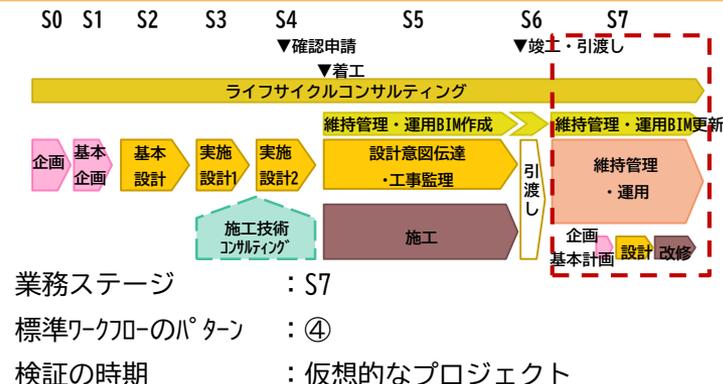


検証・課題分析等の全体概要

- ・ BIM-FMを実証する事業者とソフトベンダーにより構成されるグループが、維持管理でのBIM活用の事例が未だ少ないという課題認識のもと、中小企業も使用可能で、多くの関係者がWebで共有可能かつ写真整理を効率化する手法を開発することを目的に、施工BIMから維持管理BIMへの変換や維持管理業務の効率化に係る課題分析、データ変換時間や維持管理業務の効率化等の効果検証を行う。

検証・分析の対象など



分析する課題と課題解決の対応策

- ・ 課題A) 要件定義、データ設計を元に、施工BIMを維持管理BIMに効率良く変換できるか
 - ・ 対応策の方向性：施工と維持管理のBIMの差異を、要件定義で明らかにし、なるべく既存のデータを再利用し、再作成の手間を軽減する形で変換する。
- ・ 課題B) スマートフォンなどで撮影した写真をBIMのフロアマップに紐づけて登録することで、整理時間の短縮や関係者への共有画面と一気通貫での実装が可能か。
 - ・ 対応策の方向性：スマートフォン写真の位置情報、BIMの位置情報を統合的に管理できるようにGISデータとして扱う。BIMを高機能PCソフト「ArcGIS Pro」に取り込む。クラウドサービス「ArcGIS Online」「GeoBIM」で写真の追加、関係者への共有を行う。

プロジェクトの概要

用途	オフィスビル
床面積	64,750㎡
階数	地上7階
構造種別	鉄骨造
区分	既存（増改築・改修の設計・工事等 無）

BIMの活用効果と改善策

- ・ 効果A) データ変換時間（要件定義、データ設計を除く。）
 - ・ 目標：3日間
- ・ 効果B) -1 写真の整理の時間、関係者への説明用資料の作成時間の削減
 - ・ 目標：従来手法と比較し、20%削減
- ・ 効果B) -2 関係者間の共有と理解
 - ・ ヒアリング、アンケートで把握

応募グループの概要

代表応募者	（一社）スマートシティサーベイ
共同応募者	ONESTRUCATION（株）、ESRIジャパン（株）
グループの関係性	BIMFMを実証するユーザー企業とソフトベンダー

